

# “コドモジカンプロジェクト” 成功の6カ条

## 1 計画する大人もワクワクする、楽しめるものを！

子どもが楽しく活動するためには、企画する大人自身がワクワクするような、楽しめるものを。子どもたちにたくさんやってほしいからと、あれもこれもと詰め込みすぎると子どもが置き去りになってしまいがちです。楽しいときを過ごせるように心がけて計画を練り、余裕を持ったスケジュール構成を。

## 2 1人で頑張らない

こうしたイベントはどうしてもリーダーシップを発揮する人に負担がかかりがち。準備作業を書き出し、具体的なお手伝いメニューで個々に役割を分担してもらいましょう。1人の負担を減らし、頑張りがすぎないことが継続にもつながります。

## 3 リスクに備える

天候不順時などのプログラム変更、忘れ物、遅刻、欠席、ケガ等…予想外のアクシデントが起こりえます。持参物は余分を準備しておく、保険内容を確認しておくなど事前準備を念入りに行いましょう。これが保護者の信頼にもつながります。

## 4 「ほうれんそう」が決め手

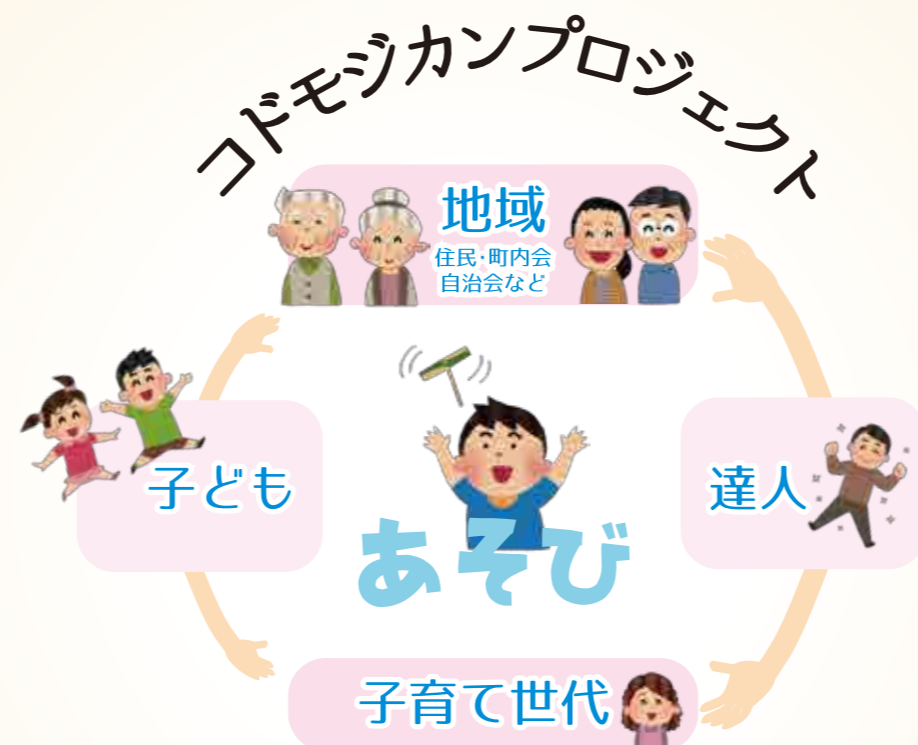
活動をする上で「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」は欠かせません。役割分担と進捗状況を常に話しあえる関係づくりを、成否は主催者のチームワーク次第です。

## 5 つかみが大事

初めてかかわる大人に警戒心を抱く子どももいます。大人たちが楽しい雰囲気を作り出すことができれば、初めて参加する子どもたちも乗ってきてくれます。

## 6 「次」につながる仕掛けづくりを

例えば、1回目に主催者側が決めた献立で料理を作り、2回目以降は子どもたちが案を出し合ってメニューを決めて料理を作る機会につなげる。このように参加者をお客様から提案者にステップアップさせていくことがコドモジカンプロジェクトの醍醐味です。



### 地域コミュニティを育む

核家族化が進む今日では、年代を異にする人たちとの関わりや出会いが極端に減ってきています。地域の人間関係が希薄であると、そのために生じる地域課題も少なくありません。

防犯、防災、高齢者や子どもの見守り、ゴミ出しルール違反…これらの多くは、住民同士のコミュニケーションで解決できるものばかり。もし、地域に世代を超えた「求心力」が存在すれば…。一緒に何かに取り組むことが、人間関係を深めたり絆を強めたりするものです。新たに他地域から転入してきた住民も、地域に根付くきっかけができ、よりスムーズに地域コミュニティの新しい一員となっていけることでしょ。

### “あそびをまんなか”に「子育て」を見守るコミュニティづくり

地域コミュニティの再生をコドモジカンプロジェクトを通して あそびをまんなか に考えてみませんか？“あそび”が遊び以上のものをもたらすはずですよ。

地域で生活している以上、その時知り合った人とどこかで必ず顔を合わせるでしょう。最初はたとえ挨拶をかわす程度であっても、後々大きな意味を持っていくに違いありません。「子育て」を見守るまなざしが地域の絆に変わるでしょう。

# あそびは交流。 あそびは学び。

【お問い合わせ・お申し込み先】

山口市市民活動支援センターさぼらんて 山口市道場門前1-2-19

TEL 083-901-1166 FAX 083-901-1165 MAIL saporant@c-able.ne.jp HP http://www.saporant.jp/



さぼらんてHP

あそびが  
まんなか

# “コドモジカンプロジェクト”のススメ

### 「子育て」を見守るまなざしが地域の絆に

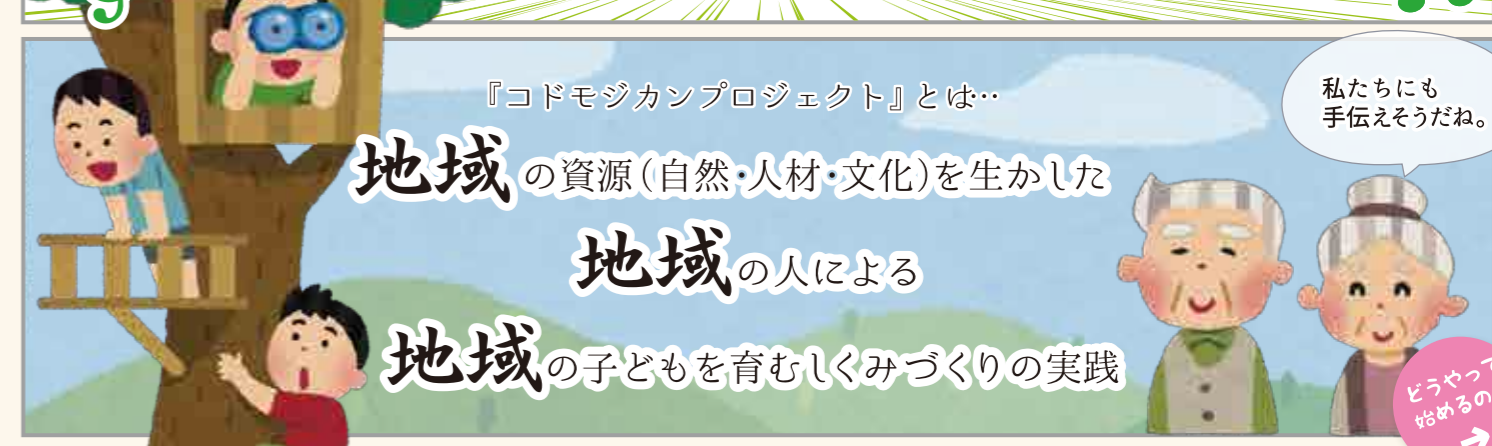
放課後、公園や図書館にゲーム機やカードを持って集まり遊んでいる子どもたち。「最近の子どもは…」と眉をひそめる人もいますが、環境の変化や大人側の都合に合わせてそういう遊び方に変わってきたに過ぎません。本来子どもは楽しみを見つける天才です。居場所と体験があれば、子どもの自発的な成長＝「子育て」につながります。

そこでさぼらんては市民活動団体とともに、この「子育て」を応援しようと2015年の夏、学期の子ども居場所作りの試験的な試みとして、『街中コドモジカンプロジェクト』を開催しました。12の市民活動団体が夏休み期間中の10日間、それぞれの得意分野で“あそび体験プログラム”を用意し、延べ185人の児童が参加。子どもを参加させた保護者からは、アンケート等で「住んでいる地域でこういう活動があれば助かるのに」という切実な声が多く寄せられました。

もし、地域単位で「子育て」を見守る『街中コドモジカンプロジェクト』のような取り組みが広がれば、どこに住んでいても安心して子育てができるようになり、また、地域の絆も深まるでしょう。『街中コドモジカンプロジェクト』の経験と反省をもとにノウハウをまとめた『“コドモジカンプロジェクト”のススメ』を活用して、あなたの地域に新たな風を起こしてみませんか？



### そうだ、コドモジカンプロジェクトをやってみよう！



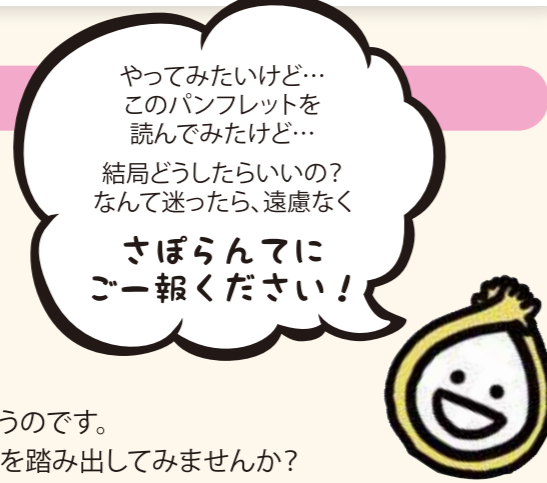
私たちにも手伝えそうだね。

どうやって始めるの？

### さぼらんてにご相談ください！

何でも、最初のステップを踏み出すのは難しいもの…。さぼらんてにご連絡頂ければもっと具体的なお話や、登録団体とのコーディネートなどご相談に乗ります。

さぼらんては「地域のことが何となく気になる」「大きなことは出来ないけど、何か出来ることがあれば手伝いたい」「そんなモヤモヤを抱えている人たちが無理なく関わられる場があれば、もっとたくさんさんの思いと力が集まって、山口はもっと元気なまちになる!!」と思うのです。山口の子どものため、大人のため、未来のために…さぼらんてと一緒に一歩を踏み出してみませんか？



# “コドモジカンプロジェクト”のススメ!

2015年夏、さぼらんてが市民活動団体と協力して行った『街中コドモジカンプロジェクト』の経験と反省を踏まえた、実践スケジュールをご紹介します。

**step1**  
運営メンバー  
集め

**step2**  
企画



**step3**  
〇〇達人  
依頼

**step4**  
全体  
ミーティング

**step5**  
受付方法確認・  
広報

**step6**  
事前準備

**step7**  
プログラム  
当日

**step8**  
ふりかえり

6～4ヵ月前

3ヵ月前

2ヵ月前

当日

今後に向けて

## step1 運営メンバー集め

まずは運営を手伝ってくれる人を見つけましょう。

- ① 遊び心がある人
- ② 子どもが好きな人
- ③ 地域を元気にしたい人
- ④ 役員経験者

などがオススメ。



POINT

## step2 企画

日程調整

日程を決める際は、学校や地域の主要なイベントと重ならないかまずは調べてみましょう。  
また、夏休みなど長期休暇中は平日のほうがニーズが多いようです。複数回開催する場合は無理のないスケジュール調整を。

プログラム想定

内容については、子どもたちがどんなことをしたら喜ぶか、どんな体験をさせてあげたいかなど意見を出し合い決めましょう。

『街中コドモジカンプロジェクト』で好評だったプログラム

- ダンボールの城づくり
- おえかき教室
- フリスビードッグとの交流
- 南京玉すだれ
- …など

担当決め

受付(受付簿の作成など)、広報、記録、連絡調整など、あらかじめ大まかに役割分担をしておく、スムーズに動くことができます。

計画する大人自身が  
ワクワクするものを!



## step3 〇〇達人依頼

step2の企画の実施内容に応じ、『達人』に協力をお願いしましょう。その道の達人を見つけるには…

- 地域に住んでいる特技を持った人を近所ネットワークで探す
- やまぐち路傍塾(山口市社会教育課教育ボランティア制度)を活用する
- さぼらんてに市民活動団体との仲介を依頼する

などの方法があります。お困りの場合はお気軽にさぼらんてへご相談ください。

POINT

## step4 全体ミーティング

関係者全体での顔合わせ。プロジェクトの目的を共有しましょう!

プログラムの確定  
参加費・定員・日程を決定。

場所

市や県が管理する公園等を利用する場合、1週間程度前までに申請が必要です。場所によっては制限される活動(ボール遊び等)もありますので、担当課にご確認ください。

リスクの想定

- 雨天時の対応  
屋外で活動をする場合、特に夏場は急激に天候が変わるため、天候不良時のメニューも想定しておく必要があります。
- 保険の確認  
活動時にケガや事故が起こった場合、どんな保険が適用できるか、参加者に説明できるよう事前に確認しておきましょう。

## step5 受付方法確認・広報

広報

少なくとも1ヵ月前から広報を開始しましょう。  
チラシを作成し配布。HP・ブログ・SNSなどの活用も効果的です。

受付方法確認

- 電話、FAX、メールと受付窓口を多様化することは申込者に便利な反面、先着順が混乱する事態も想定されます。トラブルを避けるためにも受付方法を絞ることをおすすめします。
- 定員に達した後の対応もあらかじめ決めておきましょう。

POINT

## step6 事前準備

受付簿・名札の作成

アンケートの作成

子ども、達人、保護者向けにそれぞれアンケートを作成しましょう。

その他

- 参加費徴収の場合は、つり銭と領収書を準備しましょう。
- 子どもたちへの修了証や、達人への感謝状などがあると、参加の満足感や達成感が高まりオススメです。



## step7 プログラム当日

会場設営

受付、キャンセル・遅刻の対応

- 参加費徴収の場合は受付時に。
- 参加申し込みをしていたのに時間までに子どもが来なかった場合、事件や事故に巻き込まれている可能性も想定し開始時間15分を過ぎたら保護者の緊急連絡先に一報入れるようにしましょう。

記録(ビデオ・カメラ等)

活動報告や次回開催のチラシに活用できます。

アンケートの実施

保護者向けには、24時間回答可能なメールやオンラインアンケートの活用がオススメです。

POINT

## step8 ふりかえり

アンケートの集計

報告反省会、次回に向けて…

プロジェクトの成果物としてアンケートの結果を関係者全員に報告、共有しましょう。参加者の感想からプログラムの改善点が見つかるかもしれません。また、モチベーションの向上にもつながり次回開催のステップにもなります。

『次』につながる  
仕掛けづくりを



2015年夏  
コドモジカ  
プロジェクト  
満足度  
アンケート結果

児童の  
8割が  
満足度  
100%

参加団体  
全員が  
満足度  
80%以上



おえかき教室



ブラレール鉄道+クラフト遊び



ダンボールの城



さぼ'sキッチン



“街角探検”物語をつくらう!



犬と遊びよう!

2015年夏『街中コドモジカンプロジェクト』の様子

